

基礎演習概要（コース）

コース番号	3	コース名	地域福祉コース	コース定員	150名
-------	---	------	---------	-------	------

1. キーワード

貧困・格差問題、家族、多文化共生、地域包括ケア、地域生活支援、福祉教育

2. 基礎演習のねらい

地域福祉コースの基礎演習では、学生が地域に出かけていき、地域社会の中に起きている問題を発見し、分析し、解決する方法を考えることのできる力を身につけることをねらいとします。

地域に行き、問題意識を持って大学に戻り、キャンパス内での学習（文献での学習や講義）に取り組むという学びのサイクルをつくることによって、地域福祉についての理解を深めます。

地域福祉の対象は、児童や障害、高齢者といった分野では区切ることのできない「地域生活」です。ですから、地域福祉の学びの入口となる基礎演習では、関心のある分野に絞らずに「ありのままの生活」と「ありのままの地域」を受け止めるセンスを養ってほしいと考えています。そこで「まず、人びとの生活や地域の現実に触れてみよう」というのが、地域福祉コースで開講するゼミの共通のねらいです。

3. 社会福祉基礎演習コース共通要素

地域福祉コースの共通要素は、サービスラーニングです。実際に地域で起きている問題、それを解決しようとして取り組んでいる人たちの思いや活動の内容を、自分自身の目で確かめてみてください。

- ①学生が自分たちで、地域の実態を把握するための活動を行う。
- ②活動をふりかえる。

4. 所属ゼミ決定方法

コース選択決定後、第1希望から第3希望までのゼミを選択し、エントリーシートを提出してもらいます。学生の希望を踏まえて、コース会議で決定します。

地域福祉コースでは全てのゼミで、夏休み中のサービスラーニングの活動があります。

コースからのメッセージ

私たちは、2011年3月に起きた東日本大震災によって壊された、被災者一人ひとりの生活、地域社会、そして日本の社会全体の復興に取り組んでいかねばなりません。さらに本年4月に起きた熊本地方における震災後の取り組みも同様です。他方では「無縁社会」という言葉が生まれています。他の人とかかわることなく毎を送り、人生の最後を「孤独死」という形で迎える人も少なくありません。

このような状況の中で、人と人との「つながり」をつくりなおし、支えあって暮らしていける地域社会にすることによって、だれもが地域で生活できるようにすること（＝地域自立生活）をめざした活動が地域福祉です。地域福祉は、すべての社会福祉の基盤です。また、地域福祉を学ぶことは、本当の意味での「生活」（日々の暮らし、人生）とは何かを考えることでもあります。

「こんな地域をつくりたい」という夢を語り合いながら、どうしたらそれが実現できるかをみんなで一緒に考えていきましょう。